姨失山（ウバウシ）、坊主山　山行記録

実施日　令和５(2023)年９月１０日(日)

参加者　Ｏ内(CL)、Ａ谷、Ｏ川(綾)、Ｏ田、Ｋ原、Ｓ山、Ｎ沼、Ｍ川、Ｙ堅、

略行程　7:00 岡志別公園→9:10 姨失山登山口→9:30 出発→10:00 姨失山山頂→10:25 登山口→坊主山に向かう→12:00 坊主山林道の Co305ｍで引き返し→穂別博物館→帰路

姨失山（ウバウシ）へ

　カーナビでは、細かいところがいまいちわからない。1/25000 を頼りに『石油沢川』を探す。橋のない沢で道路に沢名の看板があることはなく、この辺だろうということで、山道をあがる。何とか登山口に到着。

　森林維持のためであったであろう道路(草繁茂)を歩く。暑い、風がない(予報通り)。

　稜線から『山肌が剥がれている(地震の被害)』箇所が見え、復興に時間がかかっている事が改めて観られた。

　山頂に向かうが、目の前は大笹藪。ちょっとした藪の隙間をかき分け、山頂に到着。山頂の三角点は、周りを背の高い藪が刈られたところに設置されていた。

坊主山へ

　登山口に向け、林道を進む。だんだん両側から笹が繁茂してくる。車の『ソナー』は、警報音(*痛い・切れると*)が鳴りやまない。これ以上、車(固有財産)の被害を広げることをせず、12 時Ｃｏ305m で折り返すこととした。登山口は Co530m。

博物館へ

　博物館に到着。

　10 人の団体割引を９人に適用できないかと交渉するも、昨今の博物館の財務状況からか、適用されなかった。

　４６億年を経過した地球の生きざまの一片を現代に伝えていた。ぜひ、拝観ください。

その他

　片道２時間かけて山に行ったが、往復１時間の山旅でした。しかし、地球歴史の一片を垣間見ることが出来たことは、有意義でありました(スイカ・カボチャ等を購入できたことが、最も有意義であったかな)。

　運転手さん　ご苦労様でした。CL 様お世話になりました。皆さま、達者でなにより。

記録　N 沼